

栄東げんきっ子

《中学生編》

第 183 号 2025.9.1 発行

＜編集発行＞

栄東地区まちづくり未来会議

＜問合せ先＞

栄東まちづくりセンター

電話 711-2203

災害は“自分事”。できる備えは怠りなく！

9月1日は防災の日です。この日は、自然災害に対する意識を高め、備えを促すことを目的として制定されました。日本は地震だけでなく、台風、豪雨などの災害が発生しやすい国です。今号では、豪雨などの被害を最小限に止めるにはどうしたらよいかを考えてみましょう。

★栄東地区も洪水の恐れ！

栄東地区では、水害は起こるはずがないとお考えの方はいませんか。でも、右の写真をごらんください。過去、道路が冠水し、床上まで浸水した実例があります。

最近、ニュースで「線状降水帯」という言葉をよく耳にします。積乱雲が線状に連なり、同じ場所を通過または停滞することで、狭い範囲に集中的な豪雨をもたらす現象です。

8月に入ってから九州の日田市では、「線状降水帯が発生、10日午後8時半前に1時間雨量117ミリを観測。観測史上最多に」というニュースがありました。もし、このような豪雨が降ったら、たちまち道路は冠水、床上浸水する可能性も。なぜなら、地区内には、東15丁目屯田通りなどの幹線道路がありますが、道路が排水できる量は1時間に50ミリ程度と言われ、雨水は行き場を失います。いわゆる内水氾濫がおき、決して水害は、

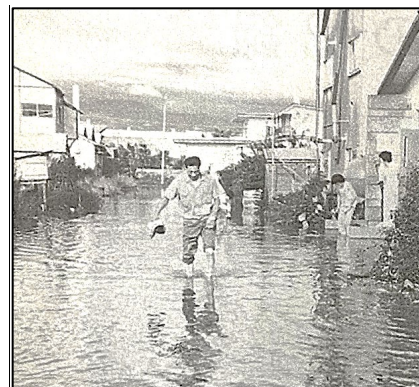
「対岸の火事」とは言えません。また、台風や豪雨で豊平川が決壊すれば、栄東地区も洪水の影響が及ぶ恐れがあります。水害は、決して他人事ではなく、「自分事」と考えなければなりません。

★ハザードマップで自宅の危険度確かめよう

左の写真は、札幌市が全戸配布した「ハザードマップ（洪水避難地図）」です。この地図は、想定し得る最大規模の降雨により想定される洪水、内水氾濫の浸水想定区域を、浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。自分の住む場所の浸水の危険度がどのくらいかを確認できる大切な資料です。もし、自宅にない場合は、次頁のQRコードから閲覧できますので、ぜひ、ご覧ください。



北 46 東 8 付近（昭和 56 年 8 月）



北 34 東 16 付近（昭和 58 年 8 月）





ハザードマップのQRコード

《避難の方法のポイント》

- ▶ 自宅が安全な場合は在宅避難
- ▶ 安全な地域の親戚・知人宅への避難
- ▶ 安全が確認できないときは指定緊急避難場所への避難

★今、中学生でもできること

自宅にあるマップや「QRコード」で閲覧し、自宅の危険度や上図の3つの避難の方法を確認したうえで、得た情報は、家族や近所の知り合いとも共有しましょう。特に高齢の方には、情報通信技術（ICT）活用は苦手な方も少なくなく、こういうとき、中学生のみなさんの出番です。

災害での備えで大切なことは、正確な情報収集とその伝達です。川の水位や気象、土砂災害、避難などは、テレビやラジオ、インターネットで確認できます。正確な情報で身の回りにおきることを予想し、被害に遭わないように的確に実践することができるのです。例えば、指定緊急避難場所の学校などに避難するとき、避難経路に危険はないかなどを事前に知ることでもでき、安全な避難につながることでしょう。災害時の家族との連絡方法や集合場所を決めておくことも大切です。

そして、自分や家族の安全が確保できたら、身のまわりの人にも気を配りましょう。高齢者、障がい者、乳幼児など、配慮が必要な方々に、声かけや手助けを行うこともできます。

災害時こそできることを考え、積極的に行動することが大切です。災害はいつ起こるか分かりません。中学生のみなさんも、日頃から防災意識を高め、地域の一員として、積極的に行動することが求められます。

栄東地区中学校クラブ紹介

栄南中学校 陸上部

栄南中学校陸上部は、1年生9人、2年生24人、3年生21人の総勢54人で活動しています。今年度は北海道大会へ23人の選手が進出し、札幌市でNo.1の実績をおさめることができました。男女リレーに加えて秋の駅伝でも北海道で優勝することを目標に日々努力を重ねています。

生徒は中学校から競技を始めた素人集団のため、練習としても自分で考えてそれぞれが動く部分も大切に陸上競技の特性に合わせた形を取っています。

今後もそれぞれが個々のやり方で、自分の目標に向かえる環境を整えて、より多くの選手が自分を磨き・高め合い・楽しめるように頑張っていきたいと思います。

ぜひ一緒に札幌・北海道の頂点を目指してみませんか？素人大歓迎！お待ちしております！

